



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 25 年 11 月 15 日(木)
のしろ市民まちづくりフォーラム 編

11 月 15 日(金)、能代市海詠坂の木材高度加工研究所にて「のしろ市民まちづくりフォーラム～日本風景街道を通して私たちにできること 6～」を開催しました。用意した席は概ね埋まり聴講者 30 人程度といったところでしょうか。

フォーラムは能登代表の開会挨拶に続き、渡辺准教授の趣旨説明と次第に沿って進んでいきました。

講師には、この方、かとうさん。わたくし、かとうさんのお話を聞くのは 2 度目なのですが、聞いているとなぜか「うるうる」くるんです。「この人(←失礼ですけど、心のつぶやきなのでご容赦を)何でこんなに能代のいいところに目が行くんだらう」、「今まで能代をこんなに褒めてくれた人いたらうか」、「そういえば今まで能代の悪いところばかり言い合っ、だからダメなんだ的な議論ばかりだったなあ」、などと考えながら聞いていると、くるんです「うるうる」が。。そして、「相手を受け入れる、認めることができる人なんだなあ」、「だから、おいしいなあ！いい景色だなあ！いい香りだなあ！役所の‘O’さん秋田の祭り情報何でも知ってるなあ！」という具合に感動することができるんだらうなあ、と考えるともう込み上げるものを抑えられません。

地元の間人は見過ごしてしまっている能代の魅力を再発見するためには、批判することではなく、認める心がなければ埋もれている魅力に気付くことは難しいだろうと思いました。そしてそういう感動することの喜びを知っている人でなければ旅人をもてなすことはできないんだらうなあと思いながらお話を聞かせていただきました。この頃にはすでに目も鼻もぐっしょぐっしょです。なんか明るい未来が待っていそうな気にさせられて、やれそうな気になるお話でした。

さあ、気を取り直して(別に落ち込んでいるわけではありませんが)、かとうさんの講演に続いて、「まちづくりによる地域活性化策～6 次産業化と地方都市連携～」と題して、早稲田エコステーション研究所代表 藤村望洋氏から講演を頂きました。○本興業の○○座でネタを聞いているかのような絶品話術と時折笑いを交えた怒濤のストーリー展開！すぐに話に引き込まれます。かつての北前船の港を連結する形で、



約 30 名の参加がありました。



かとうけいこ氏



藤村 望洋氏

**こんなことあったよ！** のしろ白神ネットワークの活動レポート

ぼうさい朝市をネットワークするというアイデアがすごい。そもそも、ぼうさい朝市とは、平時においては食と防災を組み合わせたイベントを行い、災害時には支援し合いましょうという仕組みだそうです。。なんか、「昼はしががないかんざし職人、夜は悪を退治する必殺仕事人」的な(かなり強引?)。。発想がおもしろいと思います。美味しいと防災という組み合わせに、参加者が引っかけられてる部分はあると思います。知らないうちに防災を学ばされてるみたいなのが。。藤村さんもおっしゃってました、「美味しいもので釣ってまう！」と。とにかくアツイ方でした。失礼とは思いつつ藤村さんを漢字一文字で表すと、「熱」、「力」、「動」、といったところでしょうか。物事を始める、停滞しているものを動かすためには、こんなアツイハートの持ち主が必要なんだろうと感じました。

そんなアツイハートの持ち主かも知れない、若手が登場したのが今年のフォーラムでのフロアディスカッション！なんか、新しい風が吹きそうな予感がします。新しい発想や提案を周りの先輩方がどうサポートしてあげられるでしょうか、期待が高まります！ここでも藤村さんの強烈な一撃。。「商店街のオヤジ、どうせ暇なんやろ！」「半×半を真剣に考えろ！」と。客待ちではダメだ、獲得しに動け！ということなのでしょう。。

講師のお二人、遠路はるばる能代までお越し頂き、また、やさしくて、楽しくて、ためになって、勇気づけられるご講演ありがとうございました。渡辺先生がおっしゃってました、「話を聞いて、やった気になってはダメ」と。動き出そうとしている若者がいることは確かです。やる気みなぎる若い力が能代を変える日もそう遠くない未来にあるかも知れません。

皆様、当フォーラムにお越し頂けば、新しいアイデアを持った若者が能代にもいることに気付くことができます。繋がりを作る場にもなります。次回は是非お越し下さい。

そして来年は是非是非、市長の参加をお待ちしております。

文： 岩澤 功英



フロアディスカッションの様子

**こんなことあったよ!** のしろ白神ネットワークの活動レポート**2日目午前は上町視察 編**

「のしろ市民まちづくりフォーラム」講師のお二人が上町に寄っていただきました。上町は6月にスーパーテラタが撤退、11月には秋田銀行が移転という大きな変化があり、地域住民の生活と共に商店街にも大きな打撃となりました。

お二人は、旧テラタの外と中を見学したあとに平山商店へ。かとうさんは3月に能代へ来て上町を巡ってくれましたので、その後の変わりようにびっくりしてましたね。これからのまちづくりについて藤村さんから、まちだけでなく銀行、市、大学その他農家などと一緒にまずは考えてみてはどうかと。それからのことは助成制度を利用して計画から実施まで進むことが出来ますよ、と話してくれました。平山商店もこの変化のなかでどうやっていこうかと考えておりましたので、フォーラムのお話を聞いてまずは「やるべ!」という気持ちになりました。

フォーラムでのお話にあった「能代」の魅力を発信しながら、まちづくりにかかわりながら進んで行けたらなと思っています。講師のかとうさん、藤村さん貴重なお話をありがとうございました!

文: 平山 はるみ

2日目午後は常盤視察 編

上町周辺の視察の後、お2人は常盤地区の四日市集会所でやや遅いお昼となりました。お約束のたまご鍋もときめき隊の手にかかれば、それだけで済むはずありません。ごぼうの蒲焼き 太〜いゼンマイの煮つけ 麦巻き 漬物数品 シシリアンルージュ……。ほんとに沢山食べていただきました。藤村先生は、たまご鍋をなんと三杯半も食べたんですよ。

満腹になったあとは、フォーラムの復習や全国各地の珍しい農村活性化の取り組みや、その手法を耳触りのいい関西弁で延々と語る藤村先生。ふと時計を見ると、まもなく3時です。当然、毘沙門の視察は中止となり、かとう先生が秋田空港へ出発後、ふたたび第二ラウンド開始です。上町のスーパー跡地の活用の仕方や地域の様々な職種の人材を巻き込んで補助金を最大限に利用する方法など。私たちが直面している、避けて通れない問題です。

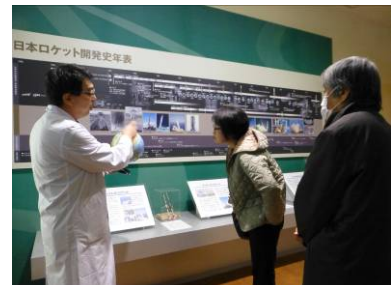
常盤ときめき隊も結成からすでに9年を過ぎました。週一回の朝市だけでは、もちろん収入面ではもの足りません。これまで何度も各地のモデル的事例を見たり聞いたりしてきました。でも、そのあとの一歩が踏み出せません。

地域のため、そして自分のため、動き始めなければ・・・と考えさせられた1日でした。

文: 石川 博孝



前日のフォーラム最後に佐々木先生から紹介のあった能代の現実。講師のお2人に現場をご覧いただきながらお知恵をお借りするのが2日目です。



能代の観光資源と言われている金勇と子ども館のロケット関連資料の展示を解説付きでみていただきました。



平山商店でも。常盤では写真を撮るのも忘れてお話を聞き入っていました。。。。。